
玉子がゆは、

風紙文

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

玉子がゆは、

【コード】

N4200Z

【作者名】

風紙文

【あらすじ】

ある日風邪を引いた少年の元に

キスはレモンの味、と、誰かが言っていた気がする

いいや、それは違うね

実際には

「うう……けほけほ」

風邪らしい風邪なんて久しぶりに引いたな……
普段なら少しの熱なら普通に過ごしてる内に治ってたのに。今回の
は妙にキツイ。食欲も出ないくらいだ。

そんな時、

「おつたまたませ〜！」

扉が力いっぱい開かれて部屋の中に入ってきたのは、俺の幼なじみ。
小学校からの腐れ縁で、別の高校になった今でもこうしてよく部屋

にずかずか入ってくる。

「けほ……何か用か？」

風邪気味の中にコイツの元気な性格は若干キツイ。

「叔母さんから聞いたよ！ だからね、おかゆ作って来たんだ！」
よく見れば手にはお盆、その上には土鍋が鎮座している。

「……両手塞がってるのにどうやって扉開けた」

「細かいことは気にすんな！」

……正直追求も面倒だから二度は訊かない。

「さあさあ、熱い内に食べて食べて！」

お盆は机の上に置かれて土鍋の蓋が開かれた。途端に湯気が上がり出来立て熱々と分かる。

レンゲが差し込まれ、一掬いされたものが俺の口元に、

「はい、あぐん」

そんなこつ恥ずかしい事が出来るか。というかそもそも……

「……ムリ、食欲無い」

何も食べる気になれない。

「おかゆだよ？」

「それでもムリ」

「玉子がゆだよ？」

「ムリだって」

というかあまり変わらない。

「何か食べなきゃ、よくなるよ」

「分かってるけど……けほ、今はムリ」

「でもさあー……」

やれやれ……とんだ世話焼きだな……

……本当に、何で俺は、こんな世話焼きを……

「ふむう……仕方ないなあ……」

何を思ったのか、レンゲの中身を自分の口の中に入れた。

そしてレンゲを置き

「んっ……」

「!？」

身体が上手く動かないのをいいことに、予期せず口の中に入ったそれを俺は飲み込むしかなかった。

「！ おま、今何して……！」

「だって、何か食べないと薬も飲めないでしょ？」
「そりゃそうだが、今のってつまり……」

「はやくよくなるといいね！」

そういつて病気と無縁な笑顔を浮かべた。

「……おう」

キスは、玉子がゆの味がする

(後書き)

電車の中、ある看板に書かれていた一言を見て思いついた作品です。
楽しんでいただければ幸いです。感想及び評価、お待ちしております。

それでは、

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4200z/>

玉子がゆは、

2011年12月14日17時55分発行